

913.3  
3  
138



91  
3  
13





卷之二

9133  
3  
43

うらのえがくくおねえねの  
えぐくとよつりてもしそう  
のえ方やどよまくわくわくわく  
おもてやくせをくへい、  
うひあれまことにみあれ  
行くやうれるゆうれくすら  
やましーあの寝とまうとえ  
たうこねよおむひ行ひせのと  
うくかくれすすとすくわ  
つわすひをよこころへとお  
すよいそくじーにくろあ

まことにやうやく  
おもやくとて  
わざわざ  
ひよつてつけのちを  
ときにはやうやくとてやうやく  
あきておひづりとい  
とうれしくなんとうわう  
りげ

まくわゆうのゆのゆの  
ひきいてくわざわざ  
えくわざわざのゆと

ゆくにわくしめゆと  
袖といふとわくとおりひて  
さめられしとれま  
のうちよしとがとくま  
からとくとくわくらわ  
くわくとくにいはくとくとく  
くわくとくとくわくとくとく  
だけられゆゆゆゆ  
あせとくわくとくとく  
とく



てこちてくとまの下に  
そのくわくわくして  
入る。じつものまき  
をくとふまうえ行ふ  
ことにあらぬ所す  
あるまくおもひしと  
ほきゆありのんの  
うちとしまだ。まう  
やのせす人しめそ  
をよみがえりまうと  
もとひ行もしりと  
まくとまくとおれ  
をめとめととづくを  
ねりとまくとまくの  
ふくかく行しつらいう  
とこのとまくとまくと  
とんとんとんとんと  
くまくまくはれるとのえ  
とてもととてとたとて  
とてとてとてとてとて  
くまくまくとてとて

そのよのとくさみのへとれと  
ソヤナギノサツノ行てくやうと  
なまごとつめられてもかど  
の行くとおとくとこりくとくらび  
くふおもくやくせんぐるす  
くらうけおぎわあみて  
おもゆとしらそで行ふぬ  
とよつてこのうとからを行  
てはいとよのとくらとよのと  
くらうあそびつけいふ  
このおつうこのよのつみ

とよそひじきとくら  
卫行くとよやうかくとくと  
とくとくとおひひくと行  
え君のまくとくやく太原院の  
むとくとくやくとくとくと  
くじくじくとよやとよとよ  
御とよとよのあつとよおひ  
きくひくとよとよとよとよ  
行くとよとよとよとよとよ  
とくとくとくとくとくとく



とおもひてよしわらひ  
やへは秋のすみかへくら  
まよひて行つまつもじ  
しの山へとよしわらひ  
をく八月うきのまひゆ  
月神と月はもよやくの西  
月とし月はあけやまの  
ゆきうしらうもれは海の事  
をとのへりきくにしある  
くまのやくとしとくと  
ためうとうひとくと  
ためうとうひとくと

くらひものとこのおの  
れひうひよてやまの  
うそひくのとくのと  
じふくとくづくけれど  
正しくまほほひとくと  
かくとくほくとくとく  
ともひくとくとくとも  
くとくとくのとくとく  
とくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとく

人のつづりやうすで手をすり  
三事のうちだらうたうり(ア)と  
よわく(ア)くじゆ(ア)なたとの  
かねは平あさりと(ア)かと(ア)  
ともそくじ(ア)のかねはそ  
ありくじ(ア)ううと(ア)かと(ア)かえ  
し小ま(ア)二十九(ア)を  
れども(ア)のめくらひよ(ア)ま  
やうのやう(ア)ひいていと  
きのく(ア)に(ア)上人(ア)て(ア)り  
卫(ア)う(ア)や(ア)の(ア)と  
がねとし(ア)の(ア)や(ア)く(ア)  
ぬこ(ア)と(ア)お(ア)ひ(ア)その(ア)  
の二月(ア)し(ア)ま(ア)の(ア)の(ア)  
こう(ア)と(ア)を(ア)か(ア)と(ア)  
うて行(ア)草(ア)あ(ア)け(ア)う(ア)の  
花(ア)を(ア)と(ア)小(ア)さ(ア)う(ア)と(ア)  
う(ア)う(ア)と(ア)れ(ア)う(ア)う(ア)の  
う(ア)う(ア)と(ア)一(ア)行(ア)  
の(ア)う(ア)う(ア)う(ア)

鳥の声(ア)も(ア)う(ア)か(ア)う(ア)と(ア)

えて(ア)う(ア)う(ア)と(ア)わ(ア)れ(ア)せ  
やう(ア)う(ア)う(ア)と(ア)う(ア)と(ア)

じうのとものすしもや  
かくわんきておこすはよ花の  
けくとあらうきのおひけ  
まことて

あくせくねりひかくとて  
さくへうそふくとよのを  
めなきやくさんほえり  
よとゆよとゆめとせの  
あくとぬとくさんあたを  
れとスのとくわくとや  
こきのくわくはづだの

かどく人らのまほのまつあひの  
ざんとうてかんぞうく  
のこひうてなかやせこ  
やゆくようと佑よれひうめ  
そよがおいたのギトヒツが  
とまられ行て

かくわんとくとしまれてこ  
黒とくとあらんと  
らとくとくとくとくとくと  
あくとくとくとくとくとくと

つゆくらのれい  
とひるごと

in der Sonne  
im kalten Wasser  
der Erde  
oder Regen  
oder Wind  
oder Frost  
oder Schnee





出借  
913.3 3 138

3.3  
8